

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりになき緊張感

向日葵はわが街のシンボル



2024 (令和6) 年11月15日 / 第98号

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

風早北部地域ふるさと協議会

真に市民の為の防災の実現に必要です

- ① 自主避難所開設は行政無線/パンザマストで
- ② 避難所の出入りはマイナンバーカードで
- ③ 各団体の防災活動状況の把握が必要
- ④ 市全体での総合防災訓練の実現を

太田市長、
本当に重要
なんですよ



* * * * *

本紙第96号、第97号に続き、当会から市に要望したいその他4項目につきご紹介いたします。今後の柏市防災行政担当部署からの誠意ある対応や回答（「反論も大歓迎」です）を期待しています。

① 自主避難所開設の周知は行政無線/パンザマストで

大型台風等の風水害を目前にした際、市内の各近隣センター等に自主避難所が開設されますが、その市民への事前案内が、市のメール配信サービスやSNS(X)登録者宛て、市のホームページでの通報に限定されています。こうした手段は一般的には、特に避難が必要となる高齢者独居世帯にはなかなか届きにくく、実際に災害時に**自主避難所開設を認知した高齢者市民は決して多くない、むしろ知らない方々が多い**との残念な結果となっています。市は広報に努力したいとの相変わらずの答弁に終始していますが、効果は一向に改善されていないのが正直なところです。本件での市役所職員の地道な努力では、とうに限界にきています。

市は、あくまでも自主避難所（市民が自らの判断で避難する場所）とし、避難指示や勧告と誤認され、避難する住民で避難所が溢れかえる負の面を考慮し、行政無線での案内には抵抗を示しています。しかしながら、**防災避難は人命を守る手段であり、より多くの住民に知らせることを怠る(上記の通り市は広報活動に努力すると回答していますが、その進展が全く観られていないのも事実)姿勢こそが、防災活動の基本的理念に反している**と考えます。

是非、新たに部分的活用も可能※となっていることで、**市の行政無線（パンザマスト）の自主避難所開設を市民に案内する際の利用**を強く求めます。

※それなりの金額予算を投入し一昨年度から行政無線の案内を必要な地区で部分的に使用することが可能となっていますが、今のところ、その十分な活用が出来ているとの評価はお世辞にも出来ていません。これはこれで執行効果の面で問題を孕んでいます。

* * * * *

②避難所の出入りはマイナンバーカードで

市内各地に点在する指定避難所に、災害時にマイナンバーカード自動読み取り装置の配備を将来的に求めます。その検討の早期着手をお願いします、平時は市役所庁舎や各近隣センターに配備し、利用市民の出入りや手続きの自動化に役立たせます。本装置の利用方法次第では防犯・安全対策にも十分活用が可能です。

非常時にこれを各避難所へ配備することで、現状ではマンパワーで行う避難所来訪者や退出者の受付管理が相当程度自動化され、仮に避難住民が体調を崩した時などの不慮の事故の際の救急医療にも、マイナンバーカード個人情報が活用できる＝人命を救うことに繋がります。避難所運営者負担が確実に軽減出来ることのメリットを踏まえ、是非マイナンバーカード自動読み取り装置導入を市のITC化推進の一丁目一番地策の一つとして要望します。

* * * * *

③各団体の防災活動状況の把握が必要です

市内各地域住民による防災会、防災委員会、自主防災組織といった名称で、その活動母体の創設の際に市が補助金を支給していますが、こうした団体の現状の活動状況を把握することも、市行政(我々の血税を補助金として拠出している立場でも)の大きな責務と考えます。現状では、各団体からの相談や要請がない限り、市から地域団体へのアプローチがないのは、たいへん問題があるものと考えます。双方向での情報交換のためにも、是正が必要です。

先ずは、柏市危機管理部がその主体となり、市内全域で防災活動体となっている(市が把握している)これらの組織の活動状況を、細かく把握(調査)すべきです。本意見への市の見解をお聴きしたいと思います。

* * * * *

④市内全体(広域)での防災訓練の実現を求めます

昨年度の柏の葉地区での訓練に続き、去る9月21日にアリオ柏で開催された今年度の柏市総合防災訓練を見学しました。3年に一度、こうした不特定の一般市民等来場者が多い商業施設での訓練は、大規模な自然災害発生時に帰宅困難者等で溢れることが想定されます。その対策として実施するのであれば会場がこの場所とされた趣旨は理解できますが、アリオ柏従業員等施設内部従事者も巻き込み、営業行為を一時的に中断させてまでの訓練は現実的ではない中、本当にこうした訓練が実践向きの内容であるかについては甚だ疑問が残ります。春先から準備をしてきただけの盛りだくさんの内容とは思われましたが、これを来年度以降も実施するような流れには、より多くの市民参加が可能なやり方には決して繋がらないことから、私どもとしては、真に市民の為に防災訓練であることを、引き続き柏市には訴えて参ります。

ようやく今年、本格的市民参加型シェイクアウト訓練が実現しました。次は広域の市民参加型訓練の実現を市にはお考えいただきたいと思います。

9月20日の今年度第3回定例議会で、みらい民主かしわの岡田智佳議員が質問に立ち、今年度のシェイクアウト訓練(21日実施)の結果評価と、今後もより多くの市民が参加されるよう市行政の一層の努力を求めました。